

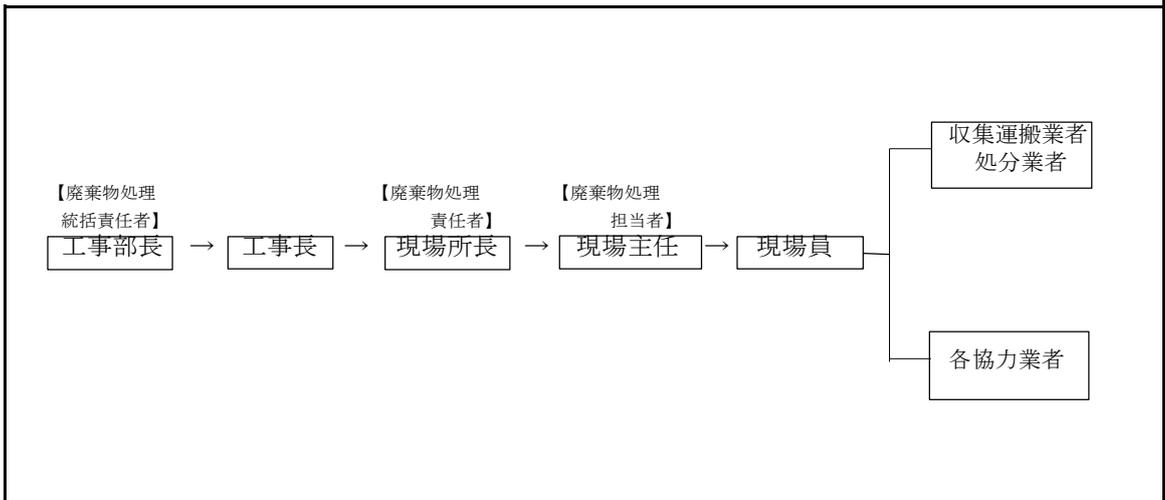
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和6年6月26日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 東京都世田谷区上馬四丁目26番4号 小俣建設工業株式会社 氏 名 代表取締役 松尾 光徳</p> <p style="text-align: right;">（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 03-3410-3911</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	小俣建設工業株式会社
事業場の所在地	東京都世田谷区上馬四丁目26番4号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 238,570万円（前年度実績）
③従業員数	38人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥 → 脱水、調質改良 → 改良土等として再生利用・廃プラスチック → 破碎 → 原料として再生利用・紙くず → 破碎 → 製紙原料として再生利用・木くず → 破碎 → 燃料チップ、木質ボード原料として再生利用・金属くず → 破碎 → 原料として再生利用・がれき → 破碎 → 再生砕石、再生砂として再生利用・コンクリート破片 → 破碎 → 再生砕石、再生砂として再生利用

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	2,917.750 t	9.625 t
	(これまでに実施した取組) ・資材の梱包・養生材の省略化 ・内装材のフレット化による端材抑制 ・再資源化、廃棄物の抑制、廃棄物の適正処理の社員教育指導 ・協力業者への教育指導		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	2,480.000 t	8.500 t
	(今後実施する予定の取組) ・上記取組の継続推進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、紙くず、木くず、がれき類、金属くず 等 出来る限り専用のコンテナを設置し分別に努める
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、紙くず、木くず、がれき類、金属くず 等 出来る限り専用のコンテナを設置し産業廃棄物の分別、 混合廃棄物の抑制に努める

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
排出量	0.750 t	29.250 t	47.500 t	0.096 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
排出量	0.600 t	25.000 t	40.000 t	0.050 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
排 出 量	7.571 t	2.500 t	15.150 t	98.428 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
排 出 量	6.000 t	2.000 t	13.000 t	85.000 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
排出量	105.060 t	5.180 t	21.060 t	153.036 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
排出量	95.000 t	4.500 t	18.000 t	135.000 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	2,917.750 t	9.625 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	9.625 t
	再生利用業者への処理委託量	2,917.750 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・処理内容を把握し処理業者と適正な委託契約を締結			

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
全処理委託量	0.750 t	29.250 t	47.500 t	0.096 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.750 t	29.250 t	47.500 t	0.096 t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(第4面) - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
全処理委託量	7.571 t	2.500 t	15.150 t	98.428 t
優良認定処理業者への処理委託量	7.571 t	- t	15.150 t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	2.500 t	- t	98.428 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(第4面) - 4

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	105.060 t	5.180 t	21.060 t	153.036 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	21.060 t	153.036 t
再生利用業者への処理委託量	105.060 t	5.180 t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	2,480.000 t	8.500 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	8.500 t
	再生利用業者への処理委託量	2,480.000 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の要求事項を把握・順守する ・優良認定業者の把握及び処理委託の実施		
※事務処理欄			

(第5面) - 2

【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	ダンボール	木くず	繊維くず
全処理委託量	0.600 t	25.000 t	40.000 t	0.050 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.600 t	25.000 t	40.000 t	0.050 t
再生利用業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(第5面) - 3

【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	コンクリートくず	廃石膏ボード	がれき類
全処理委託量	6.000 t	2.000 t	13.000 t	85.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	6.000 t	- t	13.000 t	- t
再生利用業者への処理委託量	- t	2.000 t	- t	85.000 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

(第5面) - 4

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	アスファルト・コンクリート破片	建設混合廃棄物	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	95.000 t	4.500 t	18.000 t	135.000 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	18.000 t	135.000 t
再生利用業者への処理委託量	95.000 t	4.500 t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。